

12/14 <講演会>連載「関西の力」からひも解く、関西復権の手がかりは」

（産経新聞×産業研究所連続講演会「関西の地域振興と国際化」第4回（全5回）報告

2018年12月14日（金）に産経新聞大阪本社政治国際部長の大谷卓（たかし）氏、産経新聞大阪本社社会部大阪総局次長の池田進一氏をお招きして、産研講演会「連載「関西の力」からひも解く、関西復権の手がかりは」を開催いたしました。

産経新聞夕刊に2016年11月から2年近くにわたり掲載された連載記事「関西の力」は「伝統」「繊維」「スポーツ」「鉄道」「教育」「祈り」「食」「探る」「エンタメ」「未来」という10のテーマに沿って、記者が取材をした内容をもとに関西の新たな魅力を探りだす試みでした。この連載の陣頭指揮を執った大谷氏からは、関西が持つ魅力や広い視野を持って「世界」を目指すことが未来に続く「関西の力」である、とのメッセージをいただきました。

また、池田氏からは、かつて京都総局宗教担当記者として、「伝統」のテーマを担当した経験をもとに祇園祭の背景、現状などについてお話をいただきました。

講演後は、産経新聞大阪本社編集企画室次長の田井東一宏氏が加わり、3者で「関西の力」についてのディスカッションも行われました。

（この講演会は経済学部開講「経済事情F（担当教員：高林喜久生教授）」の一環として開催いたしました。）

■参加者：40名



大谷卓氏(上) 池田進一氏(下)



田井東一宏氏(右)